

三重県内経済情勢 (平成 22 年 1 月の指標から)

県内経済は、厳しい状況が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる(生産は持ち直している。個人消費は弱い動きの中にも、持ち直しの兆しがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いているが、改善の動きがみられる)。

1. 概況

(生産)

鉱工業生産指数は 4 か月ぶりに低下し【図 1】、鉱工業製品在庫指数は 2 か月連続で上昇した。

(消費)

大型小売店販売額(既存店調整値)は前年同月を 1 年 6 か月連続で下回った。【図 2】コンビニエンスストア販売額(富山、石川、岐阜、愛知、三重の 5 県)は 8 か月連続で前年同月比減となったが、家電販売額(中部 8 県)は 6 か月連続で前年同月比増となった。

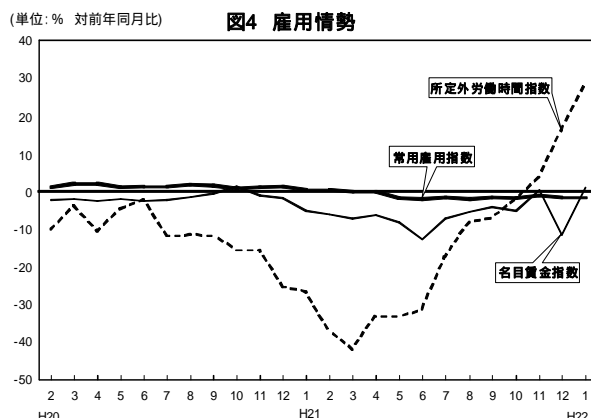
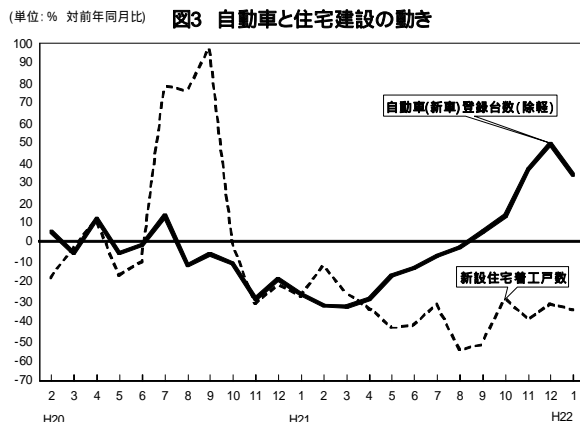
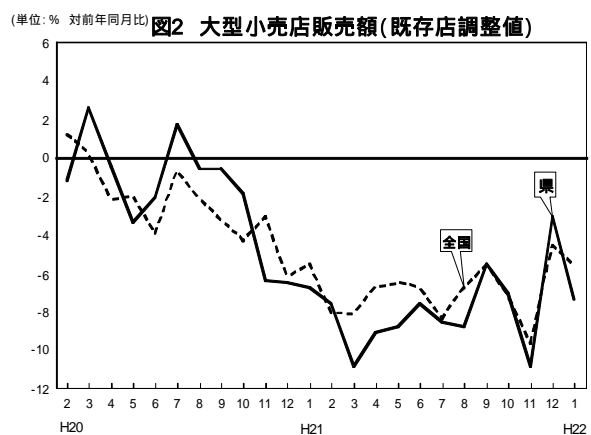
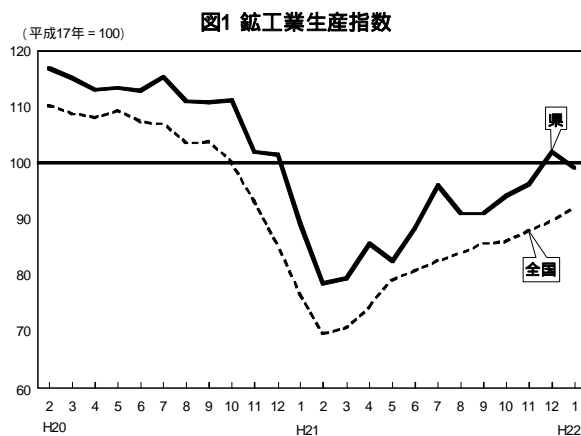
自動車(新車)登録台数(軽自動車を除く)は 5 か月連続で前年同月比増となり【図 3】、軽自動車販売台数も 2 か月連続で前年同月比増となった。

新設住宅着工戸数は 1 年 4 か月連続で前年同月比減となった。【図 3】

(雇用)

有効求人倍率は 0.48 倍となり、前月を 0.05 ポイント上回った。

所定外労働時間指数は 3 か月連続で前年同月比増、常用雇用指数は 11 か月連続で前年同月比減、名目賃金指数は 2 か月ぶりに前年同月比増となった。【図 4】



2. 主要経済指標の動き

(1) 生産活動

- ・ 鉱工業生産指数（H17=100）は99.1となり、前月比2.7%減と4か月ぶりに低下した。
- ・ 県内主要3業種では、電気機械工業（旧分類）（112.9）が前月比7.2%減と5か月ぶりに低下し、輸送機械工業（88.7）も前月比5.0%減と4か月ぶりに低下したものの、化学工業（90.2）は前月比1.3%増と3か月連続で上昇した。
- ・ 鉱工業製品在庫指数（H17=100）は105.4で、前月比7.9%増と2か月連続で上昇した。（電気機械工業（旧分類）は、日本標準産業分類（平成14年3月改定）の「電気機械工業」「情報通信機械工業」「電子部品・デバイス工業」をまとめたものです。）

	10月	11月	12月	1月
鉱工業生産指数	3.4	2.2	5.9	-2.7
（電気機械工業：旧分類）	1.6	3.3	6.7	-7.2
（輸送機械工業）	1.8	4.9	4.6	-5.0
（化学工業）	-7.9	15.3	3.6	1.3
鉱工業生産指数（全国）	0.5	2.2	1.9	2.7
鉱工業製品在庫指数	-6.0	-2.3	4.6	7.9

(2) 個人消費

- ・ 県内の大型小売店販売額（既存店調整値）は、前年同月比7.4%減と1年6か月連続で前年同月を下回った。
- ・ コンビニエンスストア販売額（富山、石川、岐阜、愛知、三重の5県）は8か月連続で前年同月比減となったが、家電販売額（中部8県）は6か月連続で前年同月比増となった。
- ・ 自動車（新車）登録台数（軽自動車を除く）は前年同月比33.2%増となり5か月連続で増加し、軽自動車販売台数も前年同月比8.1%増となり2か月連続で増加した。全自動車では前年同月比22.1%増と5か月連続で増加した。

（前年同月比：％）	10月	11月	12月	1月
大型小売店販売額（県内既存店）	-7.1	-10.9	-3.1	-7.4
〃（全国既存店）	-7.2	-9.7	-4.6	-5.7
コンビニエンスストア販売額（5県全店）	-2.8	-4.6	-3.6	-3.7
家電販売額（8県全店）	7.5	1.6	16.5	14.8
自動車（新車）登録台数（県内）	12.6	36.1	49.5	33.2
〃（全国）	12.6	36.0	36.5	36.8
軽自動車（新車）販売台数（県内）	-8.4	-5.7	9.8	8.1
〃（全国）	-8.9	-6.5	-0.5	0.7
自動車・軽自動車 合計（県内）	4.3	17.5	31.9	22.1
〃（全国）	4.4	18.3	21.6	21.5

(3) 住宅建設

- ・ 新設住宅着工戸数は765戸となり、前年同月比34.7%減と1年4か月連続で減少した。

（前年同月比：％）	10月	11月	12月	1月
新設住宅着工戸数	-29.8	-39.5	-32.0	-34.7
（参考）（持家）	-9.3	13.8	-3.5	10.9
（貸家）	-38.9	-69.4	-50.9	-66.6
（分譲住宅）	-38.3	-68.7	-49.0	61.1

(4) 公共工事受注（1件500万円以上の工事：発注者別請負契約額）

- ・ 公共機関からの建設工事受注工事額は104億6千2百万円となり、前年同月比26.9%減と5か月ぶりに減少した。
- ・ 「国の機関」からの受注工事額は72億5千1百万円となり前年同月比231.1%増と2か月連続で増加したが、「地方の機関」からの受注工事額は32億1千万円となり前年同月比73.5%減と4か月ぶりに減少した。

(前年同月比：%)	10月	11月	12月	1月
受注工事総数(県内)	30.2	9.6	107.6	-26.9
国の機関	15.7	-56.9	406.8	231.1
地方の機関	34.8	29.7	30.4	-73.5
受注工事総数(全国)	-17.3	9.3	-11.5	-1.5

(5) 雇用情勢

- ・ 有効求人倍率は0.48倍となり、前月を0.05ポイント上回った。
- ・ 所定外労働時間指数は前年同月比28.4%増となり、3か月連続で上昇した。
- ・ 常用雇用指数は前年同月比1.5%減となり、11か月連続で低下した。
- ・ 名目賃金指数は前年同月比1.0%増となり、2か月ぶりに上昇した。
- ・ 完全失業率(全国値)は4.9%となり、前月より0.3ポイント低下した。
- ・ 三重県の完全失業率(モデル推計値)は10~12月期で4.3%となり、前期(4.9%)に比べて0.6ポイント低下した。

(前年同月比：%)	10月	11月	12月	1月
有効求人倍率(三重県、倍)	r 0.41	r 0.42	r 0.43	0.48
" (全国、倍)	r 0.43	r 0.43	r 0.43	0.46
所定外労働時間指数	-2.2	3.7	16.1	28.4
常用雇用指数	-1.8	-1.0	-1.5	-1.5
名目賃金指数	-5.2	0.4	-11.5	1.0
完全失業率(全国)	r 5.2	r 5.3	r 5.2	4.9
(参考)完全失業率(三重県:モデル推計値)	4.3(10-12月期)			

(6) 企業倒産

- ・ 企業倒産は5件発生した。負債総額は11億4千7百万円(前年同月比87.6%減)と4か月連続で前年同月比減となった。

(%：前年同月比)	10月	11月	12月	1月
企業倒産件数(件)	12	10	8	5
負債総額(%)	-52.6	-90.0	-46.2	-87.6

(7) 消費者物価

- ・ 消費者物価指数(H17=100)は100.3で、前月比は0.3%下落、前年同月比では1.3%下落した。

(前月比、前年同月比：%)	10月	11月	12月	1月
消費者物価指数(4市平均)	-0.6	-0.3	-0.1	-0.3
"	-2.4	-1.9	-1.7	-1.3
" (全国)	-0.4	-0.2	-0.2	-0.2

3. 景気動向指数（CI 指数）

- 一致指数（景気の現状を示す指標）は 64.6 となり、前月と比較して 4.5 ポイント上昇した。一致指数からみる県内経済の基調は、改善を示している。

DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインを 5 か月連続で上回り 85.7%となった。

（前月差：ポイント）	10月	11月	12月	1月
CI一致指数	0.3	3.4	7.6	4.5
3か月後方移動平均	0.6	2.4	3.8	5.2
7か月後方移動平均	1.9	1.8	3.0	3.0
DI一致指数（%）	57.1	85.7	85.7	85.7

- 先行指数（1月時点よりも半年程度先の景気を示す指標）は 82.6 となり、前月と比較して 8.4 ポイント下降した。DI 指数は、景気判断の分かれ目となる 50%ラインと同じ 50.0% となった。

（前月差：ポイント）	10月	11月	12月	1月
CI先行指数	8.0	3.1	-4.3	-8.4
3か月後方移動平均	0.9	2.8	2.3	-3.2
7か月後方移動平均	2.9	3.0	1.5	0.2
DI先行指数（%）	33.3	50.0	83.3	50.0

